

「第三者評価を受けて～事業者からのコメント～」

吉野保育所

私たち北九州市立吉野保育所全職員は第三者評価を受けることを通し、保育内容や環境の見直し及び見えてきた課題の改善に取り込むことを目的としました。

私たちが大切にしてきたものは、子ども一人ひとりを受容しながら集団の育ちを保障し、保護者や地域のご理解ご協力に支えられた保育です。これらの重要性を全職員で再確認し実践を分析できたことは、私たちの自信となり全職員共通の大きな意義がありました。

さらに準備や職場内研修の中から見えてきた大きなことに、実践を記録に残すことの必要性とわかりやすい情報開示の必要性がありました。

また今後とも継続することとして、地域性を生かし、一層の職員間の連携が重要となる保育実践が共通認識されました。

例として

- ・ 園庭での菜園活動 園児とともに取り組み、「食育」「地域の方との交流」「生命を考える」「エコ活動」と結びつける。
- ・ レト口他、近隣地域の環境を生かした地域交流や園外保育。
- ・ 次世代育成 中高生との交流を通し、園児、中高生が共育ちをする。

近頃、子どもを取りまく社会状況の変化で子育てが難しいと言われていますが、私たちは今回学んだことを生かし、子どもたちの大切な人生の土台づくりを一層支援していきたいと思えます。